



NPO 法人

茨城県防災士ネットワークだより

発行日 平成27年8月吉日

発行元 特定非営利活動法人

茨城県防災士ネットワーク

責任者 広報・機関紙部長

加瀬孝雄

1. 平成27年度 NPO 法人茨城県防災士ネットワーク通常総会

この度、標記の総会が4月29日(水)茨城県総合福祉会館において、平成26年度の事業報告、収支決算報告及び同27年度の事業計画、活動予算等が審議、議決された。

総会に先立ち、高橋副理事長から基調講演として「東日本大震災から学んだこと」と題し、寺田寅彦の地震への警句、備えるべき心構え、片田教授の「津波三原則」等、自然災害の脅威に防災士として如何に備えるか、常にスキルアップの必要性等が説明された。

議案として、(1)顧問制の導入(2)旅費規程の一部改定(3)法人の倫理規定等が上程され、議決された。人事案件では、新役員に高橋茂氏が副理事長から、顧問へ、副理事長兼事務局長に阿久津聡氏、理事に加瀬孝雄氏・横田信子氏がそれぞれ選任された。その他、役員は、西村理事長以下9人が再任された。

平成26年度の総括をふまえ、「今後の方向性と日常活動のあり方」について、平成27年度は活動テーマを、「各人が地域の防災リーダーに成長しよう！」と定め、具体的に次の3項目

- (1) 各地で地区防災計画を推進しよう！
- (2) 地域防災力向上の主体者になろう！
- (3) エリア並びに法人活動の活性化を図ろう！

が議決され、推進されることとなった。



写真提供 柴田美智子防災士

2. 平成27年度・いばらき防災大学へ講師派遣

県主催のいばらき防災大学から当NPO法人茨城県防災士ネットワークに講演の依頼は

- ・第1日目・・・防災士の役割、自主防災組織の課題と活性化
- ・第2日目・・・災害図上演習(DIG)

の2回です。

本大学は、「防災」について総合的に学ぶことにより、防災に対する知識と実力を身に付け、地域や職場等の自主防災組織のリーダーとして活動できる人材を養成することにより、県民の自助・共助の精神に基づく災害に強い地域づくり及び、自主防災組織等の新規結成や長期的に安定した組織活動を支援することを目的としている。

- (1) 主催:茨城県防災・危機管理局 防災・危機管理課
- (2) 共催:龍ヶ崎市
- (3) 開校日程

第1日目	平成27年 9月12日(土)	9時30分～16時30分
第2日目	平成27年10月17日(土)	9時45分～16時30分
第3日目	平成27年10月31日(土)	〃
第4日目	平成27年11月21日(土)	〃

- (4) 開校場所 第1日目、第2日目、第4日目：流通経済大学龍ヶ崎キャンパス5号館（龍ヶ崎市120番地）
 第3日目：龍ヶ崎市立愛宕中学校体育館（龍ヶ崎市根町3777番地）
- (5) 主な内容 自主防災活動、風水害対策、地震対策等に関する講義（全4日間）

3. 市町村防災担当者へ自主防災組織活性化への働きかけ

本年7月に茨城県防災士ネットワークでは、市町村の県北エリア（北茨城市、高萩市、大子町、常陸太田市、日立市）四市一町の防災担当者を訪問し、防災士ネットワーク活動理念、活動実績等について説明を行い、市や町で開催する自主防災活動や自治会各種イベント等への参加、支援等について話し、自主防災組織の活性化に向けた取り組みを推進している。参加者：防災士、高橋茂、益子さや子、井上亮二、柴田美智子

4. ひたちなか市生涯学習センター主催の「キッズ理科教室」

6月27日（土）ひたちなか市一中地区コミュニティーセンターにおいて、市生涯学習センター主催の「キッズ理科教室」が開催された。講義に先立ち、実験のノウハウを確実なものとするため、事前の準備として、県央エリアでリハーサルを行いスキルアップを図った。

模擬実験では、液状化現象、地盤のちがいによる揺れ方の違い、断層破壊現象等の実験を行った。

断層破壊現象では、右写真で示すように、小麦粉、砂を多重層にし、横から地盤を圧縮することにより断層の破壊を生じさせる実験を行った。

リハーサル参加者：防災士、豊崎吉光、福島末輝、高橋茂、志村謙一、加瀬孝雄

「キッズ理科教室」では、参加した小学生は当初予定より少なかったが、断層破壊の模擬実験では、子どもたちにとっては、初体験でもあり、強い興味と関心を示していた。

高橋講師は、子どもたちが興味を示し、真剣に学ぶ姿に接し、「この断層破壊の模擬実験は、当ネットワークの中でも共有していきたい内容である。」と語っている。



断層破壊現象準備



高橋・福島防災士の断層破壊実験



豊崎防災士の液状化現象

5. 第1回ブロック長及び講師研修会の開催

平成27年7月26日（日）土浦市中村南「三中地区公民館」で標記の研修会が開催され、講師としてさらなるスキルアップを目指しました。

午前の部は、ブロック長会の後、鹿行ブロック長 野口正弘防災士の県南地区活動の実態、行政やFM かしまとのとの関わりなどが報告された。

次に、つくば市の長屋和弘防災士による高校生対象の講演が行われた。

午後の部は、「プレゼンテーション技術とそのノウハウ、高橋茂顧問からあり続いて、笠間ブロック長、志村謙一防災士から防災啓発活動マニュアル（日本防災士会）策定のパワーポイント「自分を守る、地域を守る」を使用しながら、地域実態を踏まえた、地域の実情にあったプレゼンテーションが行われた。



野口防災士プレゼンス



志村防災士プレゼンス

6 つくば市立二宮小学校で防災教育の開催

平成27年7月7日(火)つくば市立二の宮小学校で、地震発生時の「自分の身の安全のため、ダンゴムシ姿勢を取り頭を守る実技指導を行った。

その他、テーブルの下、机の下、座布団など手近なもので頭を守ることを説明。次に「マイ防災バックを作ろう」とのテーマで、3年生を対象に防災教育を行った。

若林美智子防災士・山本美和防災士が対応



7. FM かしま市民放送への番組出演

「FM かしま市民放送」が防災意識の高い地域コミュニティー放送局として存在感があり、市民へのアプローチの方法について鹿行ブロック長・野口正弘防災士が交渉し、本年8月から来年3月までの間、テーマを絞り、出演者を選考することとなりました。なお、「FM かしま市民放送」への出演は、8月2日の理事会で議決、決定されました。

8月のテーマは防災入門で、県南東ブロック長 野村 彰防災士が担当することになりました。局側との打ち合わせにより、以下の4回にわたって放送の予定です。

第1回 防災士ってどんな仕事

第2回 災害ってどんな時起きるの

第3回 残暑 熱中症を予防するには

第4回 防災グッズ あれこれ・・・これがあると便利

上記各項目は、それぞれ5分程度の質問形式のレポートを策定し、FM かしまスタジオで収録し、放送されることとなります。

9月のテーマは、「9月1日は(防災の日)災害から身を守るには」とのテーマで5項目について実施が決まり現在、県央エリア地区内で各項目についてブロック長を中心に依頼し、策定中です。

出演者は、笠間ブロック長の志村謙一防災士に依頼し、放送を予定しています。

10月のテーマは、「秋の夜長、家族で防災を考えよう」とのテーマで、県北エリアの柴田美智子防災士を予定しています。10月以降は、他のエリアが担当する予定です。

8. 講演会並びに防災教室

(1) 学校関係

前号掲載以降に行われた各種講演会等における講師は、以下の通りである。(敬称略、順不同)

講演内容	対象団体名	参加会員氏名
児童、生徒を中心とした 防災教育	つくば市立高山中学校	長屋和宏、若林美智子、西村正夫
	つくば市立島名小学校	長屋和宏、若林美智子、西村正夫
	つくば市立真瀬小学校	今井健之、矢代文夫、福島末輝
	つくば市立北条小学校	長屋和宏、小野泰宏、中村隆
	つくば市立筑波小学校	若林美智子、中村義徳、長屋和宏、福島末輝、黒田一雄
	つくば市立二宮小学校	若林美智子、山本美和
	つくば市立田井小学校	今井健之、西村正夫

(2) 自治会、自主防災組織、社会福祉協議会関係

前号掲載以降に行われた防災講演は、以下の通りである。(敬称略、順不同)

内容	対象団体名	講師等
理科キッズ教室	ひたちなか市生涯学習センター	高橋茂、福島末輝、志村謙一、豊崎吉光
災害時の女性の役割	常総地方幼少年婦人防火委員会	益子さや子

(3) 防災訓練への参加

前号掲載以降に行われた防災訓練における参加状況は、以下の通りである。(敬称略、順不同)

	対象団体名	参加会員
利根川水系 連合・総合 水防演習	国土交通省、群馬県、茨城県、埼玉県、千葉県、栃木県、東京都、神奈川県、伊勢崎市	西村正夫、中村隆、鈴木勇、野口正弘

(4) 第1回 会員スキルアップ研修会

前号掲載以降に行われた防災訓練における参加状況は、以下の通りである。(敬称略、順不同)

内容	講師	参加会員(36名)
スキル アップ 研修会	第1部 長屋和弘 第2部 高橋 茂 第3部 志村謙一	中村義徳、高山義男、笠島昇治、荻野悦男、矢野靖彦、矢野恵津子、斎藤友孝、今井健之、若林美智子、山本美和、大川太作、野口正弘、中崎智雄、関谷美子、石引公子、野村彰、山本みゆき、浅野泰子、黒田隆一、林昌子、市川清次、鶴長文正、山田章、中島良夫、貝塚勇、宮本博海、小室太、渡辺平、加瀬孝雄、黒田一雄、中村隆、福島末輝、西村正夫

9 NHK おしえて防災士コーナーの出演報告

昨年に引き続き、本年度も標記放送について、当防災士ネットワークに依頼があり、4月から実施中です。前号(第011号)以降に放映された内容と出演者は以下のとおり

4月・新生活と防災



福島末輝防災士

5月・女性の防災



益子さや子防災士

6月・竜巻と雷



井上亮二防災士

7月・熱中症に注意



小池寛防災士

なお、昨年4月からの上記放映に関しては、NHK水戸放送局ホームページの「おしえて防災士」コーナーにアップされているので、そちらを参照されたい。

“3.11 あの日 わたしは”

東日本大震災発災時の活動

NPO 法人日本防災士ネットワーク

鹿行ブロック長 野口正弘

2011.3.11 東日本大震災 あの日は、普段と変わらずに営業回りをしていました。午後の顧客先で、人生最大級の地震の揺れを体験しました。激しく響く地鳴りと、悲鳴、物の落ちる音、割れる窓ガラス。床にしゃがみ込み、頭を抱えて身を守ることしかできませんでした。

揺れる建物、周りの風景にただならぬことを感じ、急ぎ3～4km先の会社に戻る判断をしました。普段は、車で10数分の距離なのに塀や電柱の倒壊等で数時間を要し帰社しました。ラジオからは、この地方に10数メートルの津波が来るとの警報が出ておりました。更に詳しい情報をとラジオに耳を傾けるも、「大きな地震がありました。」との報道のみで地域の情報は皆無でした。妻とはどうにか連絡がとれたものの、高校生の息子、保育士の娘とは連絡のつかず不安な状態が続いておりました。会社から約15km先の自宅に戻ろうとしましたが、渋滞は相変わらずで、2、3時間がかかり、20時頃になって到着しました。後で知ることになりましたが、震災による道路の陥没、損壊また液状化現象などの影響は大きく、大渋滞の要因になったのでした。

妻と母は無事で自宅におりましたが、余震が怖く、車に乗って近くの公園に避難していたことが分かりました。その後、息子とも連絡がとれ、娘は夜中過ぎに帰宅しました。

家族は、無事を確認でき安堵の気持ちが働いたためか、地震災害の意識はなく「地震の時は、机やテーブルの下にもぐれ」「地震の時は火を消せ」の程度です。

こんな時には、どうすれば良いか。何をすれば良いか？災害に対して全く無防備でした。早く朝になればと思いながら、眠れない夜をすごしていました。まさか、こんな災害がわが身に起きるなんて、阪神淡路大震災も、新潟中越地震も大変なことだとは思っていましたが、どこかで自分とは遠い話の様な気がしていました。でも、災害は起こるのです。災害国、日本に生まれて「備えなければいけない。大切な人を守るために。」そう思い、私は防災士になりました。「伝えなければいけない。大切な人を守るための街を。」そう思い、私は防災士として活動していきたいと思っています。

★ 女性会員紹介コーナー

～私の防災士としての活動～

NPO 法人日本防災士ネットワーク

阿見・美浦副ブロック長 林 昌子

私が防災士になろうと決心したのは、4年前の「東日本大地震」を経験し、更に、今後「首都直下地震」が必ず来るとの情報により危機感を感じたからです。豊かな自然環境に恵まれ災害の少ない美浦村は、住民も震災に対して関心が薄い地域です。私は、「自分の地域は自分で守る」との意識を一人でも多くの人に持って欲しいと、講習会で勉強したことを議会で取り上げ、「AEDの講習」と「防災訓練」の実施を村長に提言しました。村長の理解のもと、現在では一般の人へのAED講習の定着と学校区ごとの防災訓練が行われるようになりました。参加者はまだ少ないですが子供を守るため親子3代で参加する方もいて、女性の方の意識が出てきはじめました。昨年「避難所運

営ゲーム(HUG)」のセットを村で購入して頂きましたので、今後は自主防災組織の拡大とHUGの導入で住民の意識啓発に挑戦してまいりたいと思っています。

◎今後のイベント案内

(1) 茨城県防災士ネットワーク県内被災地視察研修

- ・開催日時 平成27年9月6日(日)午前10時 神栖市中央公園(防災公園)集合
- ・視察場所
(ア) 神栖市中央公園(防災公園) (イ) 鹿島神宮 (ウ) FMかしま(エ) 日の出地区

(2) 北関東連絡協議会 県外被災地支援研修会(一泊予定)

- ・開催日時 平成27年10月10日(土) 午後2:00 福島県いわき市いわき建設事務所集合
(宿泊場所調整中)
- ・翌日は、各県独自行動

(2) 平成27年度北関東連絡協議会避難所・運営訓練指導者研修会

- ・開催日時 平成27年 11 月 29 日(日)13:00～17:00の間
- ・開催場所 群馬県前橋市「群馬県地域防災センター」
前橋市上細井町2142-1(群馬県前橋合同庁舎敷地内)
- ・テーマ 避難所開設・運営訓練指導者研修会

～ ～ ～ ～ ～ 記 ～ ～ ～ ～ ～

◎市町村の防災担当課の皆様へ

NPO法人茨城県防災士ネットワークでは、防災講演会や研修会の講師、DIG(災害図上訓練)やHUG(避難所開設ゲーム)、防災マップづくりなどの指導も行っております。

講師をお探しの場合は、下記までご連絡ください。

窓口 : 福島 未輝 (役職 副理事長(兼)企画・研修部長) TEL 029-842-1823(自宅・FAX 兼用)

連絡先 : 〒300-0842 土浦市西根南1-12-44

メールアドレス sueki-f@jcom.home.ne.jp



会員の皆様へお願い ;

「3. 11あの日 わたしは」のテーマで会員皆さんが3. 11の当日、またそれ以降に行動した記録を募集しています。原稿は、400～500字程度でお願いします。

・送付先 : 〒310-0844 水戸市住吉町15-3 加瀬 孝雄 宛

・E メールアドレス: abcd25621@yahoo.co.jp

Tel(Fax 共) :029-248-1097

編集後記

本機関紙(第012号)は、前高橋広報部長から引き継ぎ、新たにスタートしました。これまで蓄積された実績を踏まえ、スキルアップを見据え、踏襲していきたいと思っております。ネットワーク会員どうしの活動の情報提供が広報紙の生命線です。メールや状況写真の提供をお願い致します。当ネットワークでは、来春2月中旬、設立10周年記念行事を予定しております。現在、実行委員会を立ち上げ、企画立案中です。概要が決まり次第お知らせいたします。……加瀬

